

中山 真一

札幌市議会議員

【討議資料】



市議会奮戦記

2018年 特別号

発行:札幌市議会議員 中山真一事務所 市政相談、いつでも受付中です!

〒011-0027 札幌市北区北27条西6丁目1-26
TEL: 090-2541-8286 / FAX: 011-727-0877
E-mail: nakashin27@gmail.com

中山真一 検索
HP: http://snakayama.net/

民間企業から転身、北区から市民目線の改革を実現!

2015年4月の札幌市議会議員選挙において、初めて議会に送り出して頂いて、はや3年。議会の常識は世間の非常識。身内に政治家がいる訳でもなく、秘書上がりでもない私にとって、議員としての日々は驚きの連続です。特に、一部の議員や市役所職員の危機感の無さ、現場感の無さは想像を超えていました。日々の生活に奮闘されている市民の皆さんとのギャップに、かく然としたことも、一度や二度ではありません。今後も粘り強く市政に風穴を開け続け、市民目線の改革を進めていきます。市政は私たちの生活に直結しています。今後も声をお聞かせください。札幌の未来を、ぜひ一緒に考えていきましょう。

プロフィール 1973年2月7日生まれ。青山学院大学 法学部 卒業。大手プロダクション、音楽制作会社にて、営業・宣伝・新規事業開発・マネジメント等を担当。北海道マーケティング総研(株)にて、道内企業の海外進出・輸出支援・海外での北海道キャンペーンを担当。2015年4月 札幌市議会議員選挙 初当選。経済観光委員会・人口減少対策特別委員会・議会改革検討委員会委員、維新の党北海道総支部幹事長等を歴任。認知症サポーター。家族:妻、妻の母、愛犬マール 趣味:ランニング、読書、神社めぐり

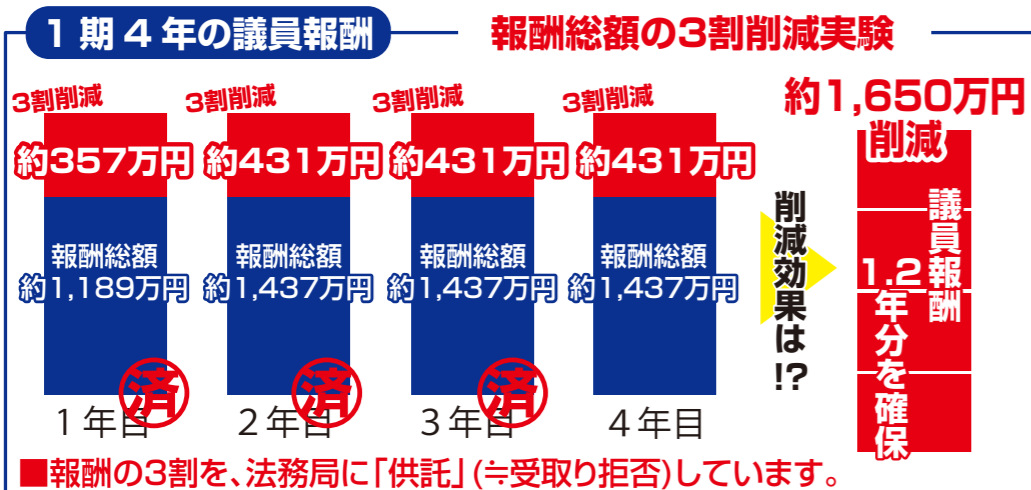


中山真一 市政改革への挑戦 進行中!

1 選挙公約「議員報酬3割削減」に向けて、まずは実行!

- 選挙公約で「議員報酬3割削減」を明記。それを実現するには議会の賛成多数で条例の改正が必要。現状は賛成が得られていないので、まずはできることから実践する。
- 「今の報酬でも足りないくらいだ」という議員も多いので、「3割削減した額でやっていけるか」を実験する。
- 増税の前にやるべきことがある。まずは議員が率先して、身を切る改革姿勢を示す。それが、従来の政治文化を変える、改革の第一歩になる。
- 議員報酬を削減した分、市民の皆さんに還元する事ができる。

中山真一 これまでの実行経過



- 議員全員に換算すると… 議員定数 68人 削減総額(4年間) 11億2,210万2,000円
 - 議員全員が3割削減すると… 年間3,600人の子どもに奨学金が給付できる! 又は、4年間で480人分の特別養護老人ホームの整備ができる!
- ※試算方法によって異なります。

中山真一 提案力でつぎつぎ実現!

札幌市議会議員 中山真一 市政報告

「議員など特別職の期末手当アップ」についての採決

自民党	民進党	公明党	共産党	改革	無所属	市民ネ	中山
○	○	○	×	○	○	○	×

2 「市政改革」は「議会改革」から

- 「市議会議員の期末手当(ボーナス)を増額する議案」に、賛成せず。多くの市民の生活が向上しない中での、議員のボーナス増は理解できません。しかしながら、多数の議員の賛成により、4年連続のボーナス増額が決定。この4年間で、436,450円の増額に。
- 「政務活動費」領収書等を独自にネット完全公開。札幌市議会史上初!! 税金で支給されている政務活動費。透明性の確保が不可欠。既にネット公開している議会も数多くありますが、札幌市議会では未だ実現できていません。そこで、まずは独自にホームページで公開しています。

や議員の中山真一氏が「市交際費」を削減するに賛成している。手当を上げる前に削減の改革が急務だと感じています。

3 行政改革

- 区役所の混雑解消、市民の利便性向上のため、「区役所窓口の土日開庁」実施を提言。 **実現** 今春、3月と4月の異動期に、全区役所で、初の土日開庁実施。今後も、区役所窓口の利便性向上を求めています。
- 市役所で相次ぐ職員の不祥事。組織体質を変える事が必要。再発防止のための抜本的な取組みを求めました。 **市側答弁** 懲戒処分の厳格化、管理職のマネジメント力向上など、信頼回復に取り組んでいく。

札幌市議会議員の中山真一氏が「市交際費」を削減するに賛成している。手当を上げる前に削減の改革が急務だと感じています。

4 除排雪の構造改革

- 市民生活の維持向上と費用抑制の両立のため、ICT活用によるデータ分析など、本市除排雪全体の再構築を提言。 **市側答弁** 作業の効率化にどう活かせるか検証の上、ICTを活用した取組みを市内全体に拡大する事を検討したい。

5 仕事・経済

- 企業の海外展開支援や外国人観光客誘致のため、海外拠点の新設と機能強化を提言。 **実現** 香港に専門コーディネート機能を設置。今後、台湾にも設置予定。
- 国際ビジネス人材育成事業。高校生の留学支援について、多くの高校生に機会を提供するため、対象の拡大と、より使いやすい制度への見直しを提言。 **市側答弁** 広く市内在住の高校生への対象拡大、制度内容の見直しを検討する。

札幌市でも無償で子育て支援センターへ子育て世帯の支援強化

6 子育て支援・教育

- 困難を抱えた子供の支援体制の充実。手続きや相談が1ヶ所で済むワンストップ窓口やアウトリーチ(訪問型)などの支援担当者の配置、地域や支援団体との連携強化の仕組みを提言。 **実現** ワンストップ窓口「こそだてインフォメーション」が開設。訪問支援も担うコーディネーターの配置。支援団体との連携を図る担当部署の新設。

7 健康・高齢者福祉

- 通院や買物に欠かせない、高齢者の移動手段の確保について、福祉部門とまちづくり部門が連携して検討するなど、取組みを本格化すべきと提言。 **市側答弁** 今後、高齢者の移動手段の確保に一定の工夫が必要になると認識している。どのような工夫ができるか研究していく。

今回の「市議会奮戦記」はいかがでしたか? ぜひご意見をお聞かせください!
送付先:FAX 011-727-0877 E-mail: nakashin27@gmail.com

(市政に関する事なども、ご自由にお書きください)

市役所にお越しの際は、会派控室にお気軽にお立ち寄りください!
(不在の場合もごさいますので、お越しの際は事前にお電話頂けると助かります)
お名前: _____ お電話番号: _____
ご住所: _____

